

【食育に関する県民の意識調査】 結果

1. 調査目的

県民の食事の状況等を把握し、県が実施する食育の施策に反映する。

2. 調査時期

平成27年10月23日～11月7日

3. 調査対象

ながさきWEB県政アンケート全モニター 388名

4. 回答状況

回答者 343名 (回答率 88.4%)

5. 調査担当課

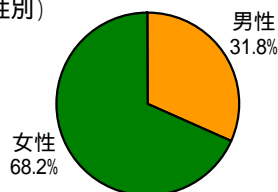
県民生活部 食品安全・消費生活課

端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

回答者属性

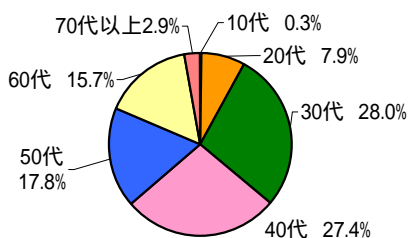
性別	人数	構成比
男性	109	31.8%
女性	234	68.2%
計	343	100.0%

(回答者性別)



年代	人数	構成比
10代	1	0.3%
20代	27	7.9%
30代	96	28.0%
40代	94	27.4%
50代	61	17.8%
60代	54	15.7%
70代以上	10	2.9%
計	343	100.0%

(回答者年代)



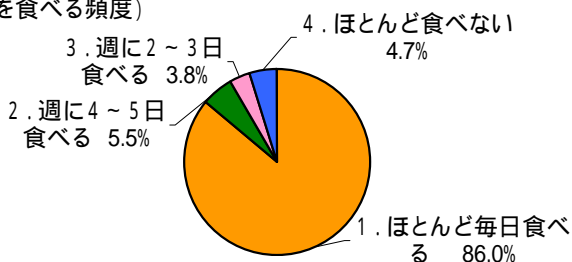
調査結果

【「食育」に関する関心度と取組状況】

Q1 あなたのふだんの朝食を食べる頻度について、あてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日食べる	295	86.0%
2. 週に4～5日食べる	19	5.5%
3. 週に2～3日食べる	13	3.8%
4. ほとんど食べない	16	4.7%
計	343	100.0%

(朝食を食べる頻度)



Q2 あなたは家族と同居していますか。

回答	回答者数	構成比
1. 同居している	317	92.4%
2. 同居していない	26	7.6%
計	343	100.0%

(居住の状況)



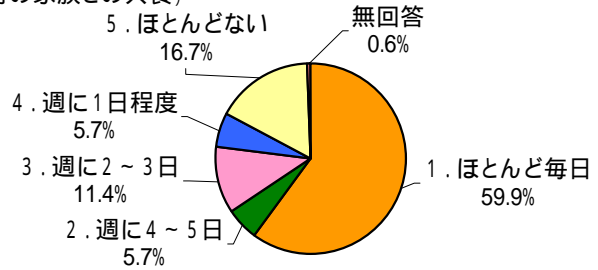
Q3 <家族と同居している方にお尋ねします。>

朝食を家族と一緒に食べることはどれくらいありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日	190	59.9 %
2. 週に4～5日	18	5.7 %
3. 週に2～3日	36	11.4 %
4. 週に1日程度	18	5.7 %
5. ほとんどない	53	16.7 %
無回答	2	0.6 %
計	317	100.0 %

回答対象者 317人

(朝食時の家族との共食)



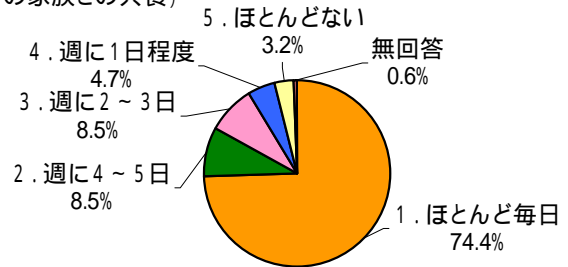
Q4 <家族と同居している方にお尋ねします。>

夕食を家族と一緒に食べることはどれくらいありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日	236	74.4 %
2. 週に4～5日	27	8.5 %
3. 週に2～3日	27	8.5 %
4. 週に1日程度	15	4.7 %
5. ほとんどない	10	3.2 %
無回答	2	0.6 %
計	317	100.0 %

回答対象者 317人

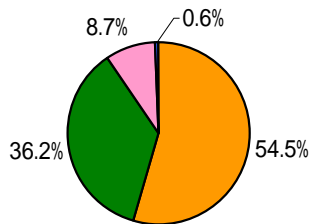
(夕食時の家族との共食)



Q5 あなたのふだんの野菜(生、調理したもの、ジュースなど形態は問わない)の摂取に対する考えについて、もっとも近いものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. 食事の時は野菜を食べるように心がけ、だいたいいつも野菜を食べている	187	54.5 %
2. 食事の時は野菜を食べるように心がけているが、食べられない時もある	124	36.2 %
3. 野菜があれば食べるが、野菜がなくても気にはならない	30	8.7 %
4. 野菜を食べようとは、あまり思わない	2	0.6 %
計	343	100.0 %

(野菜摂取に対する考え)



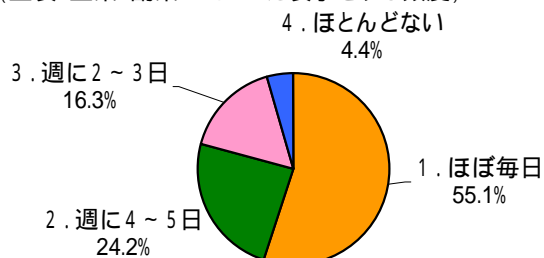
- 1. 食事の時は野菜を食べるように心がけ、だいたいいつも野菜を食べている
- 2. 食事の時は野菜を食べるように心がけているが、食べられない時もある
- 3. 野菜があれば食べるが、野菜がなくても気にはならない
- 4. 野菜を食べようとは、あまり思わない

Q6 主食(ごはん、パン、めんなど)・主菜(肉・魚・卵・大豆製品などを使った料理)・副菜(野菜・きのこ・いも・海藻などを使った料理)を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「主食」とは、米、パン、めん類などの穀類で、主として糖質エネルギーの供給源となるものです。「主菜」とは、魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主として良質たんぱく質や脂肪の供給源となるものです。「副菜」とは、野菜などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う重要な役割を果たしています。

回答	回答者数	構成比
1. ほぼ毎日	189	55.1 %
2. 週に4～5日	83	24.2 %
3. 週に2～3日	56	16.3 %
4. ほとんどない	15	4.4 %
計	343	100.0 %

(主食・主菜・副菜のそろった食事をする頻度)



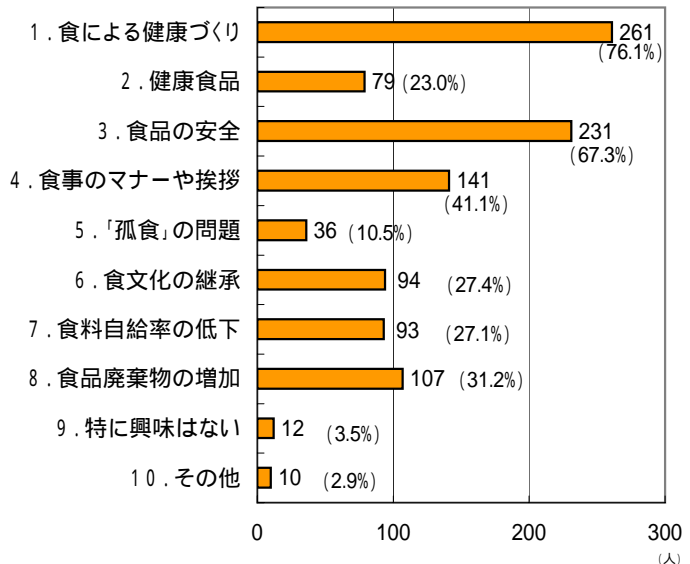
Q7 食に関して、どのようなことに興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合
1. 食による健康づくり	261	76.1 %
2. 健康食品	79	23.0 %
3. 食品の安全	231	67.3 %
4. 食事のマナーや挨拶	141	41.1 %
5. 「孤食」の問題	36	10.5 %
6. 食文化の継承	94	27.4 %
7. 食料自給率の低下	93	27.1 %
8. 食品廃棄物の増加	107	31.2 %
9. 特に興味はない	12	3.5 %
10. その他	10	2.9 %
計	1064	- %

回答対象者 343人

回答対象者に対する回答数の割合

(食に関して興味があること)



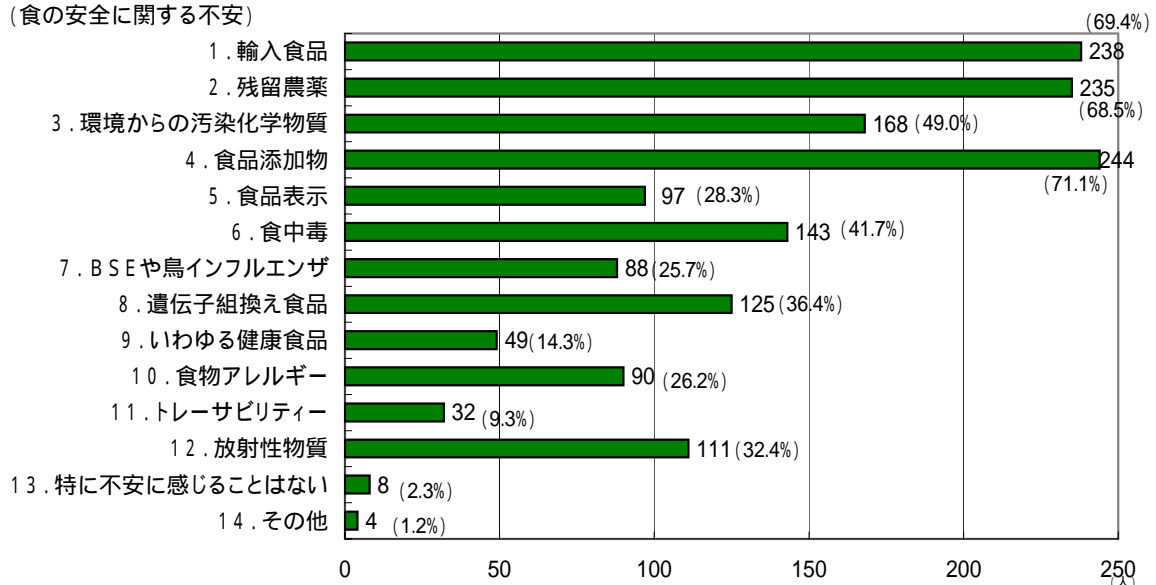
Q8 食の安全について、どのようなことに不安を感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合
1. 輸入食品	238	69.4 %
2. 残留農薬	235	68.5 %
3. 環境からの汚染化学物質(ダイオキシン、鉛、カドミウムなど)	168	49.0 %
4. 食品添加物	244	71.1 %
5. 食品表示	97	28.3 %
6. 食中毒	143	41.7 %
7. BSEや鳥インフルエンザ	88	25.7 %
8. 遺伝子組換え食品	125	36.4 %
9. いわゆる健康食(栄養補助食品、健康補助食品、サプリメントなど)	49	14.3 %
10. 食物アレルギー	90	26.2 %
11. トレーサビリティー(生産履歴制度)	32	9.3 %
12. 放射性物質	111	32.4 %
13. 特に不安に感じることはない	8	2.3 %
14. その他	4	1.2 %
計	1632	- %

回答対象者 343人

回答対象者に対する回答数の割合

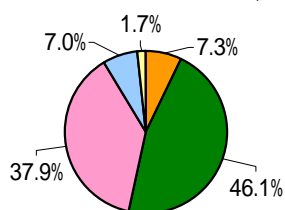
(食の安全に関する不安)



Q9 あなたの家庭でのふだんの食品の廃棄状況について、もっともあてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. 購入後、賞味期限が過ぎた場合には、その食品は食べずに廃棄している	25	7.3 %
2. 購入後、賞味期限が大きく過ぎてしまったり、食材を使いきれなかったりして、廃棄してしまうことがたまにある	158	46.1 %
3. ほとんど食品は使いきるので、廃棄することはあまりない	130	37.9 %
4. 野菜くずなどもできる限り活用するようにしている	24	7.0 %
5. 状況を把握していない	6	1.7 %
計	343	100.0 %

(家庭での食品の廃棄状況)



- 1. 購入後、賞味期限が過ぎた場合には、その食品は食べずに廃棄している
- 2. 購入後、賞味期限が大きく過ぎてしまったり、食材を使いきれなかったりして、廃棄してしまうことがたまにある
- 3. ほとんど食品は使いきるので、廃棄することはあまりない
- 4. 野菜くずなどもできる限り活用するようにしている
- 5. 状況を把握していない